

「子どものくせに・・・」or「子どもだから・・・」

子どもたちは、まだまだ心身ともに未成熟です。それゆえ、喫煙や飲酒の影響を受けやすく法律でも禁止されています。「子どものくせに・・・」ではなく、「子どもだから・・・」と言う視点で同じ地域の一員として成長を支援していただければ、地域や青少年の現状も変わっていくのではないのでしょうか。

育てよう！地域ぐるみで青少年

浅口市青少年育成活動協議会定例会総会が開催されました！

6月26日(木)に標記の会が中央公民館大講義室で開催されました。平成25年度の活動報告、平成26年度の活動計画等を委員の方々に熱心に協議していただきました。

## 1 平成25年度活動報告

## 2 役員改選(平成26年度～平成27年度役員)

会長 澁谷 達磨 副会長 虫明 幸保 副会長 山本 武司

監事 荒川 晃行 監事 山下 秀光 (2年間の任期期間 お世話になります。)

## 3 平成26年度活動計画

・定例会議 ・街頭キャンペーン ・花火大会補導 ・先進地視察研修

・健全育成表彰式及び研修会 ・参加型イベントの主催及び共催

以上のような事業を計画しています。

ご理解ご協力のほど、よろしく申し上げます。



## 6月の青少年育成センター活動報告

喫煙指導5人 遅刻指導2人 校則指導1人 声かけ活動60人

## 7月の行事予定「青少年健全育成強調月間」(岡山県)

定例補導 金光地区(2日) 鴨方地区(4, 9, 23日) 寄島地区(17, 30日)

高補連絡会(11日) 青少年健全育成街頭キャンペーン(鴨方・金光駅前広場 16日)

青少年強調月間特別補導(鴨方・金光駅周辺等 18日) 中学校連絡会(25日)

## 小学校訪問について(お知らせとお願い)

青少年育成センターの活動対象年齢は0歳～39歳までとなっています。ただ、日々の活動が、主に中学生や高校生対象の補導活動がメインになっているのが現状です。そこで夏休み中に市内各小学校を訪問して情報交換を行いたいと考えています。育成センターから2名の職員が電話をして訪問しますので、学校全体の様子が分かる先生が対応してくださればありがたいです。よろしく申し上げます。

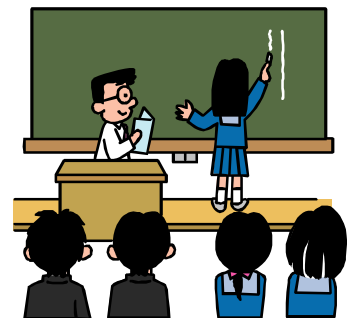
## 夏休みになります！

7月18日が小中学校の終業式の予定です。地域で過ごす時間が増えます。また、いろいろな伝統行事に参加する良い機会でもあります。交通事故、非行問題等がなく、子ども達が安心して過ごすことができるよう、ご支援申し上げます。

教師像  
語る人 貴し  
語る人も知らで  
からだで語る人  
更にとおとし  
導く人 貴し  
導くとも知らで  
後姿で導く人  
更にとおとし

正しければ少々厳しく指導しても気持ちは通じると信じていた20代  
複雑な環境で一生懸命生活している子ども達 正論だけの指導の限界を痛感した30代  
新たな指導法を模索し、学び直した40代  
教育の影響の大きさと素晴らしさを改めて痛感した50代

たまたま採用された岡山県の公立中学校の校長室に掲げられていた「教師像」の詩  
30有余年、心に宿り続けた「教師像」  
いつか、こう在りたいと思い続けた「教師像」  
私がかかわったみなさん  
私は理想の「教師像」に近づけたのでしょうか・・・。



今日を楽しむものは  
花を生けよ  
一年先を楽しむものは  
花を植えよ  
三十年先を楽しむものは  
木を植えよ  
百年先をおもんばかるものは  
ひとを育てよ

今の社会を形成してきた私たち大人は、子どもたちに夢や希望を与えられるような手本となっているのでしょうか・・・。

# 育成 あさくち

平成26年8月11日  
浅口市青少年育成センター  
NO. 4

7月22日山陽新聞「滴一滴」より～倉敷・小5女子監禁～

...「娘の姿を確認し、抱きしめることができ、これ以上ない喜びを感じました」...容疑者特定の決め手は、地元の住民がもたらした情報だった。車のナンバープレートの上に別のプレートを重ねている男がいるのを目撃されていた。住民の情報が有力な補強材料になり、事件を解決に導いた。...ハード面の対策では防犯カメラの設置を進めている地区もあるが、通学路を全て監視するのには無理がある。地道ではあるが、やはりものをいうのは、身近な周りの方々の“目”だろう。登下校の見守りや「お帰りなさい」の声掛け。そんな積み重ねが犯罪者が付け入る隙をなくしていく... (一部省略 下線は引用者によるもの)

～ 育てよう! 地域ぐるみで青少年 ～

## 青少年健全育成街頭キャンペーン

7月16日(水)にJR金光駅・鴨方駅周辺で「岡山県青少年健全育成強調月間」の行事の一環として街頭キャンペーンを実施しました。当日は、浅口市青少年育成活動協議会、浅口市青少年育成指導員の方々、浅口市教育委員会職員等、総勢36名の方が早朝7:30から駅周辺で啓発グッズを配布して駅の利用者に「青少年の健全育成」を訴えました。



JR 金光駅前

## 7月の青少年育成センター活動報告

喫煙指導2人 交通マナー指導10人 声かけ活動40人

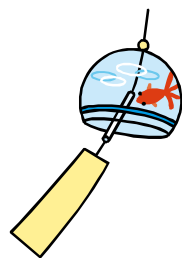
金光駅、鴨方駅の多目的トイレの目的外使用(洗髪、飲食、喫煙など)について清掃している方や近所の方から報告があります。また、ベンチ等で飲食をしてゴミを散らかして帰るケース、金光駅北側の通路に放置自転車や煙草のポイ捨てなど、大人も含めてマナー違反が気になります。地域の皆さんが積極的に環境浄化に取り組み、安心・安全な地域をつくっていきましょう。

## 8月の行事予定

定例補導 金光地区(14, 19日) 鴨方地区(5, 27日) 寄島地区(12, 21日)  
青少年育成指導員研修会(4日 赤磐市) 夜間特別補導(6日)  
中高連絡会(8日) 夜間特別補導(30日 寄島・あさくち花火大会)

## 始業式!

8月25日(月)が公立小中学校の始業式の予定です。学力向上等の目的のために他市に比べて早めに2学期が始まります。教室にはエアコンで空調されていますが、まだまだ残暑が厳しく、体も学校生活のリズムに慣れていないと思われます。特に、登下校中の交通事故等無いように、地域でも生活のようすを見守ってください。



## 名門校でもスマホ規制の流れ 反対派生徒会長の意見は？

中学生や高校生のスマートフォン保有率が高くなり、授業中にメッセージやゲームをして問題になるケースが増えてきた。4月には、比較的校則が自由なことで知られる名門中高でもスマートフォンが規制され始めたことがニュースになり、大きく話題を呼んだ・・・

### 規制が強まる名門校

中学生や高校生のころ、校則の厳しさに嫌気がさした経験は誰しもあるのではないだろうか。学生にとっては切っても切り離せない校則だが、恐ろしく校則が緩いことで有名な学校がある。

例えば私立麻布中学校・高等学校は、「鉄下駄を履いてきてはいけない」「賭け麻雀をしてはいけない」「全裸で外出してはいけない」の3つだけしか校則がないことで知られている。そんな麻布中学校・高等学校でも、スマホだけは例外ではなく、「電源を切ってかばんにしまう」というルールがある。・・・

### 一人ひとりの自覚で伝統を守る

そんな中、明確に規制をしないと明言しているのは、福岡県立修猷館高等学校だった。そこで、修猷館高等学校の生徒会長にお話を伺った。

当該記事では、規制はないという修猷館でも「授業中の使用は厳しく指導」と報じられているが、これは実際には極めて稀だという。授業中の使用に関しても何の制限もないのが実状そうだ。

教師から圧力をかけられるようなことも特になく、校風として「規制をかけるようなことがあってはならないという意識が根底にある」ため、これからもありえないだろうとのことだった。そのような意識は、生徒会や教師の間だけでなく生徒全体に共有されており、もし規制をすることになれば「学校の特長でもある、自由が失われるということを一一人一人がわかっている」という。伝統を守るために各々が自覚を持っているということだった。他の名門校で規制が行われ、社会的にも規制の風潮が強まっていることに対しては「使えるものは使うべきです」とポジティブだった。広く普及しているものをわざわざ規制するよりも、使い方次第で有効活用した方が良いという考えだ。・・・

規制する学校と活用する学校 今後の教育現場は大きく割れそうだ。

(一部省略)

下線は引用者によるもの

引用：小川楓太 [KAI-YOU.net](http://KAI-YOU.net) 記事より(一部省略)

6月28日(土)15時42分配信

## 知ろう！危険ドラッグについて

危険ドラッグは、法の網をくぐりぬけるために「お香」「バスソルト」「ハーブ」「アロマ」など、一見ただけでは人体摂取と思われないよう目的を偽装して販売されています。また、色や形状も様々で、粉末・液体・乾燥植物など、見た目ではわからないように巧妙に作られ"雑貨ショップ"や"セレクトショップ"を装ったり、インターネット通販などで売られたりしています。デザインされたパッケージやカラフルな液体は、危険な薬物に見えないため、キレイ、かっこいいという印象を持ってしまいますが、中身は売っている方もわからない恐ろしい薬物です。「合法」や「安全」という言葉を信用してはいけません。 (東京都福祉保健局HPより 下線は引用者による)

## 岡山県少年補導（育成）関係者研修会に参加しました！

8月4日（月）に赤磐市中央公民館にて「平成26年度岡山県少年補導（育成）関係者研修会」が実施されました。当日は浅口市青少年育成指導員の方々7名と育成センターの職員3名の合計10名が笠岡青少年育成センター関係の方々と一緒に研修をしてきました。

今後の活動に活かしていきたいと思います。

以下、主な研修内容です。

### 1 実践発表

- 津山市青少年育成センター  
～津山市での取り組み～
- 瀬戸内市立青少年育成センター  
～補導・巡視活動を中心に～

### 2 講演

「子どもの心にどう向き合うか～被害・加害をキーワードにして～」

講師 鈴鹿医療科学大学 藤原正範 教授

最近の子どもを取り巻く状況

- ・虐待、いじめ、自殺が話題にのぼることが多い。
- ・非行は減少、時には驚くような大事件が発生
- ・学校内暴力・学級崩壊、家庭内暴力は増加か高止まり

虐待、いじめ、自殺の事例を検討してみよう

- ・検証報告書から

子どもの問題を「被害」「加害」というキーワードでとらえてみよう

- ・「加害（行為）」が「被害（意識）」を生み、その「被害（意識）」が再び「加害（行為）」を...と、循環する。

まとめ 「犯罪から離脱している者と再犯者との違い」

- ・本当の自分を見つける。眠っているダイヤモンドの原石を見つける。
- ・自分の運命に対する自己の支配という楽観的な認識
- ・生産的でありたい、そして社会、とりわけ次の世代にお返しをしたいと言う気持ちを持っている。



### 【小学校 学校訪問より】

普段、あまりかわりがない小学校との連携を深める目的で、7月28日～30日にかけて小学校訪問を行い、校長先生、教頭先生、生徒指導主事の先生方と情報交換を行いました。（以下、主な内容紹介）

- ・どこの小学校も概ね落ち着いた学校生活を送っている。
- ・地域の「見守り隊」の方々に登下校の支援を行っていただき感謝している。
- ・なるべく集団下校を実施しているが、地域によっては最終的に一人で下校する児童への対応に苦慮している。
- ・不審者情報を小まめに入れてもらい有り難い。
- ・長期欠席の児童対応に登校支援員の活動が大いに役立っている。
- ・大簡塾（適応指導教室）も有効に活用している。
- ・育成センターへの要望：学校周辺を目立つよう巡回してほしい。育成センターをもっとPRしてほしい。（育成センターの活動内容や人員構成など、あまり知らなかった。今回、小学校訪問をしてもらって良かった等。）

### 【浅口市青少年健全育成協力店】

昨年度までの大型店に加えて、新たに浅口市内の9店舗のコンビニにご協力いただき「浅口市青少年健全育成協力店」のプレートを掲示しました。今後の育成活動（補導）に活かしていきたいと考えています。

### 【花火大会補導活動】

8月30日（土）に浅口市青少年育成協議会と青少年育成指導員の方々60余名が合同で19時から「あさくち花火大会」の特別補導を行いました。当日、参加してくださった方、有難うございました。これからも青少年健全育成のためにご協力よろしくお願い致します。



### 【8月の青少年育成センター活動報告】

喫煙指導 1人 不良交友指導 3人 自転車マナー指導 15人 声かけ活動 77人

### 【9月の行事予定】

定例補導 金光地区（14, 19日） 鴨方地区（5, 27日） 寄島地区（12, 21日）  
高補連絡会（12日笠岡市） 特別補導（17日） 中学校生徒指導連絡会（19日）  
列車補導（26日）

育成センター職員による朝のあいさつ運動は9月から高等学校にて実施しています。